

SEMINAR HOUSE NEWS

No.185 2013年11月発行

公益財団法人 大学セミナーハウス

〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1

TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>



約1.2億円が想定されており、220人程度が一度に利用できる施設を構想しています。また各建物・施設のリニューアルに1億円。いままで、定期修繕をすることができませんでしたから、少しでも清楚かつ清潔に保てるようにして、利用者の増加を図ることを目指します。次に、野外体験型研修システムとしてのプロジェクトアドベンチャーの設置3千万円です。この事業は、すでに施設の一部を完成させ、この10月には体験会を実施し、青空のもと多くの皆様のご参加をいただきました。今後、各大学においてご利用いただくことを期待しております。さらには防火・防犯・安全の強化のため、防犯カメラの導入、防災放送設備、外灯の設置などを検討、計画しています。

これらの事業に必要な資金は2.5億円を超えるものと試算しており、記念事業募金と借入によりまかなうとしております。

セミナーハウスの運営は、会員校の分担金、寄付金、宿泊研修などからの事業収入を基本財源としています。今後安定的な運営を続けて行くには、補助金等の獲得や自己資金の充実が欠かせないことですが、まずは皆様の大学で大いにご活用いただくことが何よりの支援となります。

今後も皆様に愛され、必要とされる施設として発展して参ります。どうか温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



巻頭言

50周年の節目に向けて

大学セミナーハウス 理事長
佐藤 東洋士

私が大学セミナーハウスの理事長を拝命して、早いもので7年が経過いたしました。この間、国の公益法人制度の変更により、2011年度には公益財団法人に移行し、新たな定款を定め歩みははじめました。

日頃、会員校の先生方にはセミナーハウスを様々な面でお支えいただきましてありがとうございます。誌面をお借りして御礼申し上げます。

さて、先人たちの熱い思いによって大学セミナーハウスが開館したのが、1965年7月5日のことでした。2015年には開館50周年を迎えます。設立当時の理念は、「学生と教員が寝食をともにして学び合う場」、「国公私立の壁を越えたネットワーク構築の場」であり、リベラルアーツ教育実現の場そのものでありました。その志を引き継ぎながら、綿々とその充実と発展に努めて参りました。しかし、50年という歳月の中で、建物や施設設備の老朽化により、近年は利用者の需要に応え切れていないという課題があります。そのような中、限られた財源ではありますが、できる限り利用者の満足度向上や安全、安心の確保を目指して努力して参りました。50周年記念事業は、魅力ある施設として次世代へ継承していくためにも、周年という節目に向けて、次の50年の礎とすべく展開されています。

記念事業は、「セミナーハウスビジョン2015」に基づき4年計画で実施しております。これは3つのビジョン「理念の実現」、「伝統の継承」、「新たな展開——個性豊かな宿泊研修環境の展開——」を掲げて、取り組みを行っています。

セミナーハウスで建築年数が48年を超える建物は、本館、中央セミナー室、図書館、講堂、松下館、長期館の6棟です。中でも食堂（本館）は施設設備の老朽化が目立ち、新たな食堂棟建設の必要に迫られています。この食堂棟の建設には

●佐藤 東洋士(さとう とよし)プロフィール

桜美林学園理事長・桜美林大学総長
専門：高等教育

略歴：

1989年4月 桜美林大学国際学部教授・国際学科長

1992年4月 桜美林学園評議員

1993年4月 桜美林大学副学長

1996年4月 同学長

桜美林学園常務理事

2003年5月 同理事長（現在に至る）

2012年4月 桜美林大学総長（現在に至る）

同名誉教授

兼職：文部科学省大学設置・学校法人審議会会長、文部科学省中央教育審議会大学分科会委員、文部科学省学校法人運営調査委員会委員、大学セミナーハウス理事長、日本私立大学協会副会長、大学基準協会副会長、日本高等教育評価機構理事、大学評価・学位授与機構大学機関別認証評価委員会委員、キリスト教学校教育同盟理事長、世界大学総長協会会長（2014-2017）

主な内容

巻頭言 「50周年の節目に向けて」	1
新館長メッセージ 「館長就任のご挨拶」	2
50周年記念事業特集	3
法人ニュース	6
千人会通信	7
セミナー情報	8



新館長メッセージ



館長就任のご挨拶

大学セミナーハウス 館長
鈴木康司

この度、図らずも荻上前館長の後を受けて6月から館長に就任いたしました。二年後に50周年を迎える公益財団法人大学セミナーハウスの現場責任者として、これからのセミナーハウスの進む方向をしっかりと見定め、支えてくださる会員校、千人会をはじめとする後援者の方々、更には利用して下さる皆様のご尽力を得て、歩んで行きたいと思っております。

このセミナーハウスが発足した半世紀前の日本は、池田内閣による所得倍増計画が進められて、国全体が急成長期に入るところでありました。設立者である都内30以上の大学関係者の思いは、社会を背負って立つ世代の養成にあたり、大学間の壁を越えた自由闊達なセミナーを、この自然に恵まれた環境のもとに展開しようとするものだったのでしょう。その為にはメンバーである大学がそれぞれ責任をもってこのセミナーハウスを支え、発展させようとの意気込みに燃えていたと思われます。月日は経ち、時代は激しく変化しました。日本はもとより、最近の世界情勢の移り変わりはめまぐるしいほどですが、未来を担う若い世代をどのように育てるか、これはかつてと変わらぬ重要課題であります。

わが国は現在、政治、財政、経済、外交など、国の基本的分野の劣化により、閉塞状況にあります。だからと言って、高等教育に携わる大学をはじめ、高校や、社会人が切磋琢磨せずこのまま推移すれば、日本は三流国に落ち込むでしょう。

大学セミナーハウスにできるのは社会全体から見れば微々たることでしかありません。しかし、われわれは公益財団法人としてベストを尽くすべく、古くからの施設に手を入れつつ、同時にさくら館をはじめ新規の設備を増築して利用者のご要望に応え、総合アートセミナーやプロジェ

クト・アドベンチャーなど、いくつもの新企画を実行します。更に、数々のゼミナールを一層充実して、新しい時代に即応した大学人、社会人、国際人の養成に取り組むことこそが、未来を拓く礎を築く道と信じています。

もちろん、時代の推移に伴って、大学に限定することなく、公益法人として社会に貢献する活動を絶えず心がけてまいる所存ではありますが、そもそもは、若者たちのために諸大学が力を合わせて設立したセミナーハウスであるのを忘れなく、大学人の皆様におかれましても、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願いしてご挨拶といたします。

●鈴木康司（すずき こうじ）プロフィール

公益財団法人日仏会館評議員・中央大学名誉教授
専門：フランス演劇史（文学博士）

略歴：

- 1952年 東京教育大学付属高等学校卒業
- 1956年 東京教育大学文学部仏文学科卒業
- 1959年 同大学院人文科学研究科仏語・仏文学修士課程修了
- 1960～62年 文部省派遣フランス政府給費留学生としてパリ大学留学
- 1964年 東京大学大学院人文科学研究科仏語・仏文学博士課程満期退学
- 1964～73年 中央大学文学部専任講師・助教授
- 1974年 同大学文学部教授
- 1983年 同大学学生部長
- 1984～86年 パリ国際大学都市日本館館長
- 1989～93年 中央大学文学部長
- 1999～2002年 中央大学学長
- 2002～13年 財団法人大学セミナーハウス常務理事
- 2004年 中央大学名誉教授
- 2007～12年 公益財団法人日仏会館副理事長
- 2013年～ 公益財団法人大学セミナーハウス館長
公益財団法人日仏会館評議員

社会活動：日本フランス語フランス文学会会員

受賞：第25回毎日出版文化賞（1971年）
教育功労賞オフィシエ（フランス政府 1987年）
平成9年度芸術選奨文部大臣賞（1989年）



▲さくら館室内（シングルルーム）



▲本館から長期館へ

開館50周年記念事業の進捗状況について

大学セミナーハウス 専務理事 程 島 俊 介

1. はじめに

開館50周年記念事業の大枠は、昨年及び本年5月の評議員会および理事会において了承・確認され、昨年10月の理事会では募金活動を行うことを決定しています。それに基づき、これまで具体的作業を詰めてまいりましたので、その進捗状況をご報告いたします。

募金パンフレットにも触れておりますが、記念事業のポイントは、①食堂棟の建設、②既存施設のリニューアル、③野外体験型研修施設としてのプロジェクトアドベンチャー（P A）の導入と園内整備の3点です。その趣旨は、①の食堂に関してはすでに築48年たっており老朽化が進み喫煙の課題となっていること、②のポイントは、清楚かつ清潔で女性の目線に耐えられるリニューアルをしたいということ、③のP Aに関しては、本施設の強みでもある自然空間を活かし、野外体験型のセミナー事業の展開を図るとともに、現代の若者の人間関係の脆弱さを克服し、「つながる力」「かかわる力」「創る力」を呼び覚ますことを期待しているものです。

2. 食堂棟の建設について

1億2,000万円の予算で、現在の交友館の隣、バーベキュー（BBQ）広場との間に、1階建、800平米、220人収容の食堂棟を新築すべく業者と交渉をしております。複数の懇親会が同時に出来、BBQとの繋がりもよく、何よりも展望が開けた好立地です。本来開館50周年は2015年7月ですが、計画の詰めと資金計画を考慮して、予定としては、2015年7月に起工、2016年7月に竣工を予定しております。従って、2016年7月に竣工式と50周年記念式典を同時に開催できればと考えております。なお、大きな課題としては、オリンピックを控え、このところの建設費関係の高騰により2割以上の価格高になることが危惧されていることです。

3. 既存施設のリニューアルについて

清楚、清潔、女性の目線をポイントに、①長期館風呂を女性専用に変更し、パウダールームを設置すること、②記念館の防臭、除湿を徹底するために、全室にエアコンを設置すること、③宿泊棟の内装、特に、じゅうたん、カーテン、壁紙等を刷新すること、④講堂の改修、特に、防音、内装、風除室の設置等を図ること、⑤出来れば、国際館の改修として、シャワー室に鏡と置き台の設置、木製のロッカーの設置、洗面台を2つにするなどのリニューアルを検討しております。本来他にも行いたいことはもっと沢山あるのですが……

例えば、松下館壁面、長期館屋根、国際館トイレ、留学生会館、食堂跡地の活用等の改修など。また、防災、防犯、安全対策は欠かせません。防災放送、防犯カメラ、AED、外

灯等の設備の充実については、経常費を含め年次毎に一つ一つ解決を図ってまいります。

4. 野外体験型研修プログラムとしてのプロジェクトアドベンチャー（P A）の導入について

日本に導入されたのは、1995年ですが、今日では、学校を中心に、教育委員会や各地の野外教育施設、また企業やスポーツチームなど幅広い分野で活用されてきています。

特に大学では、入学前研修、オリエンテーション、キャリアプログラム、ゼミ合宿、サークル活動、退学者対策、教職員のソーシャルスキルの向上など、コミュニケーション、チームビルディング及びリーダーシップ等の向上にはうってつけのプログラムです。各大学の共同のエクステンション施設として活用していただけると幸いです。セミナーハウスのP Aですので、施設の呼称を「SPA」と呼びます。

第1期工事として、500万円をかけてローエレメントを8種設置し、体験会等を開始しました。全体としては、ハイエレメントを入れ15種3,000万円の工事費がかかりますので、来年度には第2期工事を検討しております。

5. 資金計画について

総額2億5,000万円の記念事業費を考えています。中心は銀行からの借り入れで、2億円の借り入れを交渉中です。現在の財政事情からするとかなり厳しいのが現実ですが、寄附金と次年度繰越金を確保していければ可能かと考えております。そのためにも年間宿泊者数現在3万人強を、33,000人から35,000人まで増やすことを目指してスタッフ一同努力をしております。P Aの導入が起爆剤になることを期待しております。

さらに、開館50周年記念事業募金活動として、1億円を目標に募金活動を開始しました。

大学の共同施設であることを認識していただき、これまでになく大学からのご寄附が増えているのは心強い次第です。2014年度は計画として1,000万円ですが、現在700万円を超えています。まだ始まったばかりですので、大学だけでなく、各企業、セミナーハウスを支えてくださる千人会の皆様への働きかけも強めてまいります。

また、補助金の獲得等も工夫していきたいと考えております。

6. おわりに

以上の記念事業概要をご理解賜り、是非当セミナーハウスをご利用いただき、募金活動にご協力をいただき、学生さんたちが末永く合宿研修・人間形成の出来る施設づくりにご協力を賜りたく存じます。



▲S(セミナーハウス) P(プロジェクト) A(アドベンチャー)

プロジェクトアドベンチャーによる 体験型研修プログラムの導入計画

1965年7月に大学セミナーハウスは、大学教育のマス化の弊害を克服するために「静かな自然の環境の中で教授と学生との小グループが起居を共にし、思索し、討議し、談話を交え、人格的接触を図りながら密度の濃い人生経験を持とうとすること」を目的に出発しました。

今日の大学教育はマス段階からユニバーサル段階に移行し、グローバル化への対応、学力問題、キャリア教育など新たな課題に直面しています。「学士力」あるいは「社会人基礎力」として学生に求められているコミュニケーション能力、リーダーシップ、チームワークなどを養うためにプロジェクトアドベンチャー（PA）の手法を採用し、その活動施設を多目的広場の一角に設置しました。

この施設では入学前教育、初年次教育、キャリア教育、リーダーシップ育成、ゼミ・サークル活動、FD・SD、教員養成などの学生と教職員のためのさまざまな体験型の研修プログラムが展開できます。もちろん小中高等学校や企業など幅広い団体の研修にも活用できます。この新しい施設の活用にあたっては、セミナーハウス・プロジェクトアドベンチャー（SPA）として独自のプログラムを開発し、提供していきます。

(1) 大学生向けプログラム

内容	目的
入学前研修	リテンション、関係構築、所属感の向上。AO/推薦入試合格者を対象とした導入教育
入学時オリエンテーション	リテンション、関係構築、所属感の向上。学部ごとや希望者を対象としたプログラム
ソーシャルスキル向上プログラム	学生に求められるソーシャルスキルの向上
就活年次生対象キャリアプログラム	自己理解やチャレンジ力など社会人基礎力向上
ゼミ合宿	ゼミ生間やゼミ生と教員間の関係構築、所属感や協働意識向上
部やサークル合宿	部員間、サークルメンバーの関係向上やチームビルディング、スポーツの場合は強化

(2) 大学の教職員向けプログラム

内容	目的
リテンション・プログラム	学生支援、退学者対策（経営的な側面からも）
SDプログラム	新人職員研修、職員間（部署内、部署間）のチームビルディング（所属感向上）など
大学職員ソーシャルスキル向上プログラム	コミュニケーションや対人スキル向上
FDプログラム	新入教員研修、教員間のチームビルディング、FDの共通認識化プログラムなど
大学教員ソーシャルスキル向上プログラム	コミュニケーションや対人スキル向上
大学教職員間におけるチームビルディング	協働意識向上（関係向上）プログラム、チームビルディングプログラムなど

■体験会を開き、協力会員校教職員の方々にプログラムを体験していただきました。(2013年10月19日撮影)



▲ジャイアントシーソー：課題解決までアイデアを出しあって



▲モホークワーク：目標クリアまで真剣!お互いの手がバランスを支えて



▲浮き台わたり：全員が島へ渡れるまであと少し!声をかけあって



▲電柱でござる：おのずとさだされる手と手…信頼感が強まって



開館50周年記念事業へ期待すること

一橋大学長 山内 進

一橋大学ではむかし、夏休みに1年生向けの特別ゼミというものがあつた。ゼミは3年から始まるのだが、新生にもその味を教えようという試みである。このゼミは1年生に開かれていた授業の担当者が開くもので、場所はここ八王子のセミナーハウスであった。たしか1泊か2泊くらいだったように思う。私が参加したのは佐々木潤之助先生の明治維新史研究だった。いうまでもないが非常に頭の切れる先生で、緻密に組み立てられた論理的な授業がとても楽しく恰好よかったのが、私が選んだ理由だった。面白いのは渡辺金一先生のゼミであった。集まった場所での学生の自己紹介で、ほとんどすべての学生が授業でなにをいっているか理解できなかったので、挑戦してみた、というのである。私も同感だった。

とにかく難しかった。

同じときに、東大の丸山真男先生もきていた。ゼミ合宿だという。一橋大学で引率していた増田四郎学長といい、丸山先生といい、田舎からでてきたばかりの学生にとって、たいへん刺激的な出会いだった。建物もきれいだった。

セミナーハウスにとって大事なことは大学を超えるそのような出会いの機会を作ることと、そのため清潔な施設の維持であろう。環境はよいから、清潔であれば、人は必ずくる。50周年で建物の新築も目指されているが、これは非常に重要であろう。50周年にあたって、私はセミナーハウスに、そのような勉強と交流のための清潔な環境作りを改めて期待したい。

開館50周年記念事業寄附金 寄附者ご芳名

八王子セミナーハウス開館50周年記念事業へ温かいご支援を賜りました皆様へ心より感謝申し上げます。ご芳名を五十音順にてご紹介いたします。

今号には2012年4月1日から2013年9月30日までのご寄附を対象として掲載しております。セミナーハウスニュース184号（2013年5月発行）に掲載された方は再掲載となります。なお、ご芳名の掲載を希望されていない方については掲載していません。

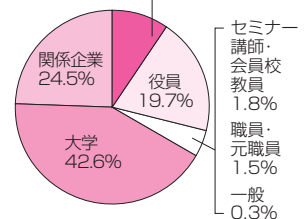
今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

開館50周年記念事業寄附金状況

平成25年10月31日現在

区分	件数	寄附金額
個人	81	2,441,000
学校法人	7	3,150,000
企業・団体	8	1,810,000
合計	96	7,401,000

内訳構成費(全額)



資料請求・募金のご案内 お問い合わせ下さい。

公益財団法人 大学セミナーハウス 総務グループ募金担当

住所：〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1
 TEL：042-676-8511 総務直通TEL：042-676-3081
 FAX：042-676-1220 総務直通FAX：042-676-4734
 E-mail：iush50bokin@seminarhouse.or.jp

寄附者ご芳名(学校法人)

大妻女子大学 様
 桜美林学園 様
 片柳学園(東京工科大学) 様
 恵泉女学園 様
 創価大学 様
 帝京大学 様
 明星大学 様

寄附者ご芳名(企業・団体)

(株)デイベンロイ 様
 (株)東邦建設工業 様
 (株)幼体連 様
 (株)ワタイチ 様
 多摩信用金庫 様
 東亜サービス(株) 様
 日研フードサービス(株) 様
 三井実業(株) 様

寄附者ご芳名(個人)

阿部 公輝 様	金谷 憲 様	島 美喜子 様	東 寿太郎 様	宮野 三郎 様
池井 優 様	狩野 紀昭 様	島田 治夫 様	肥前 榮一 様	村上 健 様
池田 温 様	菊地 滋夫 様	鈴木 皇 様	福井 憲彦 様	村田雄二郎 様
石川 信男 様	木畑 洋一 様	酢屋 善元 様	福田 一郎 様	山内 芳文 様
稲持 教昭 様	小池 生夫 様	瀬戸岡 紘 様	麓 信義 様	山田 久子 様
上田 明子 様	厚東 偉介 様	高橋 齊 様	古本 捷司 様	横田 利久 様
宇野 重昭 様	小林 徹郎 様	高村多賀子 様	程島 俊介 様	吉田 真史 様
海老根 宏 様	近藤 保 様	田中弥寿雄 様	増田貴美子 様	吉田 豊 様
大森 東亜 様	佐藤 音彦 様	得田 保雄 様	松尾 秀雄 様	米満 澄 様
荻上 紘一 様	澤島 侑子 様	橋口 英俊 様	松本 幸一 様	
小幡 史朗 様	篠田 節子 様	外立 鉄夫 様	間野 和明 様	
山斐 義幸 様	柴田泰比古 様	蓮見 音彦 様	三浦 安子 様	

第9回理事会

- ◎平成24年度事業報告通る
- ◎平成24年度決算決まる
- ◎開館50周年記念事業内容固まる
- ◎開館50周年記念事業特定寄附金取り扱い規則決まる

第9回（平成25年度第2回）理事会が、平成25年5月27日（月）16時～17時30分、桜美林大学四谷キャンパスで、出席理事7名、監事2名の出席の下開催され、全議案、滞りなく承認された。

第1号議案は、「平成24年度事業結果報告」で、①報告書の形式は、公益財団法人としての様式にのっとりしたこと、②東日本大震災のダメージ（利用者減と被害）を乗り越え、開館50周年記念事業の準備期間として位置付け企画立案を行ってきたこと、③自己資金の確保のため、年間宿泊利用者数3万人を回復し、更に、33,000人を目指すこととしたが、実際は、30,000人をわずかに超える30,196人に留まったこと、④募金活動は始まったばかりであったが、110万円に留まったこと、⑤公益法人化に伴う、規程や組織の整備を行ったこと、などの報告があり、利用促進、稼働率、高校生への呼びかけ等の質疑の後、満場一致で承認された。

第2号議案「平成24年度決算」については、①公益法人会計基準に基づき作成したこと、②利用者は目標に及ばず、276人増で、645万円の正味財産増に留まったこと、公益法人3原則は守られていること、減価償却の積み立てが出来なかった等の説明があり、続いて監事より監査上の問題はない旨の監査報告があり、満場一致で承認された。

第3号議案「開館50周年記念事業実施計画」について、①食堂棟の建設、②既存施設のリニューアル、③野外体験型研修プログラム（プロジェクトアドベンチャー）の導入、④そのための資金としては、借入金、寄附、自己資金を合わせて合計2億5,000万円の範囲の事業としたい、旨の計画概要の説明があり、今後具体化を進めることで、大綱として承認された。

併せて、第4号議案として、「開館50周年記念事業特定寄附金取り扱い規則」が提案され、平成28年3月31日までの時限立法として、満場一致で承認された。

正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで 単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,126	6,954	△ 4,828
特定資産運用益	6,751	5,461	1,290
事業収益	175,094,027	167,041,644	8,052,383
受取補助金等収益	200,000	200,000	0
受取会費・寄附金収益	50,500,000	53,359,000	△ 2,859,000
雑収益	150,835	2,145,597	△ 1,994,762
経常収益計	225,943,739	222,758,656	3,185,083
(2) 経常費用			
事業費	209,975,420	206,248,550	3,726,870
管理費	10,567,824	9,069,510	1,498,314
経常費用計	220,543,244	215,318,060	5,225,184
評価損益等調整前	5,410,495	7,440,596	△ 2,030,101
当期経常増減額	5,410,495	7,440,596	△ 2,030,101
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	65,029	6,290,292	△ 6,225,263
当期経常外増減額	△ 65,029	△ 6,290,292	6,225,263
当期一般正味財産増減額	5,345,466	1,150,304	4,195,162
一般正味財産期首残高	894,496,622	893,346,318	1,150,304
一般正味財産期末残高	899,842,088	894,496,622	5,345,466
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	1,110,000	0	1,110,000
当期指定正味財産増減額	1,110,000	0	1,110,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	1,110,000	0	1,110,000
III 正味財産期末残高	900,952,088	894,496,622	6,455,466

第4回評議員会

- ◎平成24年度事業報告了承
- ◎平成24年度決算報告了承
- ◎評議員に石森八王子市長をお願いする
- ◎理事改選・新理事決まる

第4回（平成25年度第1回）評議員会が、5月27日（月）17時30分より、桜美林大学四谷キャンパスで、佐野評議員会議長以下8名の評議員の出席を得て開催され、議案はすべて滞りなく承認された。（理事、監事陪席）

特に、定款の改正により評議員の増員が可能となったこともあり、石森八王子市長を評議員に満場一致で選任した。

また、2年の理事の任期が終了することに伴い、新たに理事の改選を行い、10名の理事が選任された。（下記名簿参照）

第10回理事会

- ◎理事長に、佐藤東洋士理事が再任
- ◎館長に、新たに鈴木康司理事が就任
- ◎専務理事に、程島俊介理事が再任

第10回（平成25年度第2回）理事会が、平成25年6月15日（土）12時より、桜美林大学四谷キャンパスで、理事7名の出席（理事総数10名）を得て、開催され、①理事長、館長及び専務理事の選出、②業務執行理事の役割分担について、滞りなく満場一致で承認された。

なお、理事・監事・評議員の一覧は下記の通りである。

平成25年度 公益財団法人大学セミナーハウス 評議員・理事・監事名簿

法人役職名	氏名	大学・勤務先	職位	
理事長	佐藤東洋士	学校法人桜美林学園 桜美林大学	理事長 総長	再任
館長	鈴木 康司	日仏会館	評議員	新任
専務理事	程島 俊介	大学セミナーハウス	専務理事	再任
理事	小川 哲生	明星大学	学長	新任
理事	荻上 紘一	大妻女子大学	学長	再任 (前館長)
理事	佐藤 和人	日本女子大学	学長・理事長	新任
理事	鈴木典比古	国際教養大学	学長	再任
理事	仙波 憲一	青山学院大学	学長	新任
理事	増田 壽男	法政大学	総長	再任
理事	山内 進	一橋大学	学長	新任
監事	沖永 佳史	帝京大学	理事長・学長	
監事	郷 通子	情報・システム研究機構	理事	
評議員会議長	佐野 博敏	大妻女子大学	名誉学長	
評議員	安西祐一郎	日本学術振興会	理事長	
評議員	石森 孝志	八王子市	市長	新任
評議員	上野 淳	首都大学東京大学院	理事・特任教授	
評議員	大井 孝	国際教育振興会	理事長	
評議員	川島 堅二	惠泉女学院大学	学長	
評議員	小磯 明	東京都議会議員		
評議員	小畑 秀文	国立高等専門学校機構	理事長	
評議員	篠田 節子		作家	
評議員	高石 道明	信州大学	元教授	
評議員	福井 憲彦	学習院大学	学長	
評議員	福田 一郎	東京女子大学	名誉教授	
評議員	福宮 賢一	明治大学	学長	
評議員	村田雄二郎	東京大学	教授	
評議員	山本 眞一	桜美林大学	教授	
評議員	鷺山 恭彦	東京学芸大学	名誉教授	



会費をありがとうございました

2013年4月～9月

(敬称略)

4月

松澤通生、小原孝一郎、柳堀素雅子、中村妙子、白川和雄、小幡史朗、藤井弥太郎、木村建一、林 肇、海老根 宏、檜田信男、橋口英俊、滝口俊子

5月

本明 寛、加藤晴久、芳賀 徹、金子六郎、奥山典生、澤島侑子、荒井 猷、椿 弘次、太田正孝、朝野洋一

6月

中村正一、福島 明、安宅光雄、本江哲郎、柴田勇造、水谷眞智子、松山正男、小倉充夫

7月

飯野訓征、田中 裕、松尾浩也、黒田道雄、吉田幸弘、慶谷伸代、中村幸安、色川大吉、上野芳康、橋本 智、古本捷治、川原啓美、松島 恵、犬塚 博、柏木恵子、田島恵児、藤原鎮男、厚東偉介、小川信子

8月

布施涛雄、山内芳文、小池 滋、稲田 拓、新井勝紘、秋間 実、得田保雄、大瀧祐子、小池生夫、松尾秀雄、國岡昭夫、萩原洋太郎、栗原 裕、佐藤東洋士、荒川由美子、村田光二、八幡義博、宮野三郎、岡村文子、長内 了

9月

長田洋子、鈴木一道、米村貞藏、金谷 憲、田中弥寿雄、朽津耕三、福島正久、山田耕司、藤田淑子、林 勲、小堀桂一郎、麓 信義、鈴木俊和、永井克孝、並河一道、井手久登、東 壽太郎

会員からのメッセージ

◆三大病をかかえながら、不思議に守られて牧師として、神学校の教師として、東北の被災地の奉仕者として、働かせていただいています。 小幡史朗

◆本明寛は平成24年12月6日に死亡いたしました。大学セミナーハウスの活動のますますのご発展を願っていると思います。

本明登志子(本明寛先生奥様)

◆セミナーハウスにしきりにかよった頃から、はや40年余。若葉の光を浴びていると、あの愉快だった日々を思いおこします。

芳賀 徹

◆やっと米寿を迎えることができました。セミナーハウスもこれからますます末長く御発展のほどお祈りして居ります。金子六郎
◆誕生日をありがとうございました。今回は増額させていただきました。楽しく長生きしていただける感謝の気持ちです。

澤島侑子

◆66歳を健康で過せる毎日をありがたいとつくづく感じています。原発事故を徹底的に究明し、繰り返さない科学の進歩をひたすら祈ってます。

太田正孝

◆ごぶさたしております。いつも誕生日のポストカードをいただきありがとうございます。これまでお送りしていない会費をお送りいたします。

中村正一

◆毎年カードを有難うございます。87歳の誕生日をむかえ、とうとう杖をつく身になりましたが、何とか元気しております。

吉田幸弘

◆御発展をお祈りしています。 慶谷伸代
◆本年も元気に誕生日を迎えることができ、うれしく思います。益々のご発展をお祈りいたします。

松島 恵

◆本年度の会費を納入致します。セミナーハウスの御発展を祈りつつ。

田島恵児

◆カード有難く頂きました。ハウスの発展の偉業を改めて痛感致します。

藤原鎮男

◆元気に古希を迎えることができました。小さい時から健康という感じではなかったので、悦ばしく思います。開館当時ゼミ4年生時にお世話になり、50周年!! 大学セミナーハウスの発展をお慶び申し上げます!

厚東偉介

◆酷暑の候、皆様にはお変わりなく御活躍の事と拝察しております。夏になると学生と一緒にセミナーハウスでさわやかな緑の中で熱く語ったのを思い出します。

小川信子

◆東大、早大、日女大の3人の学長を説き、発起人としてハウスを創立した飯田宗一郎は千人会費納入者のため、毎朝6時に起き、一人一人の名前を覚え、一言必ず直筆で書いた。最近箱ものは新しくなったが、何かが欠けている。会費納入の依頼書は立派に印刷されているが、名前がない。顔が見えない。新しい千人会員がニュースで紹介されない。そして50周年を迎えようとしている。

布施涛雄

◆2016年に迎える八王子市制100周年に向けて、現在八王子市史編さん事業が進め

られていますが、近現代部門の担当として、セミナーハウスの歴史もとりあげたいと思っています。

新井勝紘

◆首都大学東京が研究者でも教育者でもない(大学教授であったためしのない)サッカー界の大物指導者をトップ(理事長)に迎えた(押しつけられた?)という報道に接し、衝撃を受け悲しんでおります。場違いの感慨、おゆるしを。

秋間 実(東京都立大学名誉教授)

◆大学セミナーハウスの益々の発展を祈ります!

得田保雄

◆おかげさまでセミナーハウスの千人会に寄付を少々できています。ありがたいことです。

小池生夫

◆誕生日に「少年H」を観に行きました。Hと同年です。

萩原洋太郎

◆セミナーハウスの果たすべき役割が一層増しているように思います。発展を祈念しております。

栗原 裕

◆大学セミナーハウスの更なる発展を心から願っております。

宮野三郎

◆遅くなりまして申し訳ございません。私は千人会初の山内恭彦先生にお仲人をしていただいて以来の会員で、東大理学部(数学)名誉教授藤田宏の家内です。八十歳を超えましたが二人とも元気。

藤田淑子

◆無事に誕生日を迎えられたこと自体が感謝の極みと思います。セミナーハウスのますますの御発展を祈ります。

永井克孝

セミナーハウスニュース担当より

「朝、富士山を見ながら散歩ができました。静かでいいところですね。(セミナー参加の大学教授)」

「学生の時にゼミ合宿で来ました。懐かしい。今度は自分の生徒と合宿してみたい。(教員免許状更新講習受講の中学校教諭)」

「ネット環境が良く、資料作りができて助かりました。(ゼミ合宿で発表した学生さん)」

…このようにお声をかけていただく度、セミナーハウスの素晴らしさとここを職場としていることに改めて幸せを感じます。そして千人会の皆様の、セミナーハウスを大切に思って下さる変わらないご厚情とご支援に深い感謝とともに、少しでもセミナーハウスの役に立てるように、と気持ちを新たにしております。心からのご支援をほんとうにありがとうございます。

セミナー・留学生グループ 相馬生苗



2013年度大学生のための総合アートセミナー



活動報告 http://www.seminarhouse.or.jp/seminar_kaisaichiran/sogoart_top.html

○セミナーハウス主催事業
デジタルアートセミナー#2 10/5~6 担当アーティスト 藤本直明 参加者数54名

openCVなど名前は知っているけど深くは知らなかった領域を知ることができて満足している。画像処理の考え方も理解することができ、さらにテクニック的な部分まで教わることができて良かった。…参加者より



○アーティストによる自主企画事業

名称/担当アーティスト	日程	内容
Art communication Vol.1 by 陣崎草子&みなさん 陣崎草子	3/28~6/19	本館3 ¹ / ₂ 階アートギャラリーにキャンパスを設置。お客様の自由な描画とアーティストの合作。
栗野ユミト	4月~7月末	東京造形大学デザイン学部・メディアデザイン専攻領域の学生による八王子セミナーハウスウェブサイトのデザイン・プログラム提案。
浅井 健作展 浅井健作	6/22~7/7	木彫作品の展示 <i>伝統的でありながらモダン。立体と平面の調和。美しく素晴らしいです。(来館者ノートより)</i>
タッチするとさえずる鳥のアクセサリをつくろう 久世祥三 久世茉莉子	6/23	電子工作ワークショップ
中央線デザインキャンプ2013 ハチノス	8/3~8/4	テーマ:デザインが地域にできること <i>ワークショップ開催のノウハウを学生に伝えていきたい。(主催者)</i>
Art communication Vol.2 by 藤川さき&みなさん 藤川さき	8/5~	本館3 ¹ / ₂ 階アートギャラリーにキャンパスを設置。お客様の自由な描画とアーティストの合作。
ドールハウスをつくる 藍原ユキ	8/24~8/25	<i>建築家丸山欣也先生にも参加いただき建築を学び始めたばかりの1年生にもものづくりへの向き合い方を教えていただきました。(主催者)</i>
絵と物語研究会 陣崎草子	9/1~2	絵本作家、児童文学作家をめざす人のための合評合宿。
日本大学短期大学部 建築・生活デザイン学科 ものづくりワークショップ 田所辰之助	9/5~9/7	みんなで座れる竹のベンチを作ろう
ぐるぐるつくる大学セミナーハウス第12回ワークキャンプ 斎藤祐子	9/22~23	<i>英語のテキストが読めるのかドキドキだったが、単語帳もありました。オオカミのエピソードがとても興味深かった。(参加者)</i>
自然との対話から表現へ R.D.ローレンスの世界(1) 藤山雪子	9/28	<i>平井先生の丁寧な指導で、道具を使いこなしても楽しくアイシングクッキーを作ることができた。(参加者)</i>
お砂糖でデコレーション!アイシングクッキーを作ろう! 藤川さき	10/6	

今後の予定 ※詳細はHPをご覧ください。

○セミナーハウス主催事業
・絵と物語セミナー 2014.2/8~2/9 担当アーティスト 陣崎草子

○アーティストによる自主企画事業

名称	担当アーティスト	日程
自然との対話から表現へR.D.ローレンスの世界(2)	藤山雪子	11/26
形の文化会	栗野ユミト	11/30~12/1
お砂糖でデコレーション!アイシングクッキーを作ろう!	藤川さき	12/15
浅井健作木彫講座	浅井健作	2014.3月 予定



お知らせ

○宿泊プラン

☆オープンキャンパス見学応援プラン

東京近郊(主に多摩地区)の大学を見学する高校生・受験生とその引率、付き添いの方を対象に特別割引料金でご利用いただくプランです。

- ・実施期間 2013年8月1日~2014年3月31日
- ・料金 1泊(食事なし)3,200円~4,600円(お部屋のタイプにより異なります。)
- ・特典 セミナーハウスから最寄り駅(JR八王子駅、京王線北野駅など)までの交通費(片道1回分)も上記料金に含まれます。

☆会員校限定特別料金プラン

セミナーハウス協力会員校の皆様へ期間限定の特別料金でご利用いただくプランです。

- ・実施期間 2013年10月1日~2014年2月28日(土、祝前日、年末年始を除く)
- ・料金 1泊(食事なし)2,500円

○第8回教員免許状更新講習(12月24日~27日)

終了確認期限を平成26年3月31日、平成27年3月31日に迎える小中高の先生方を対象に開講します。文科省指定の必修12時間、選択18時間の更新講習を4日間の集中講習で全て修了するプログラムです。**開催が近づいておりますのでお申込みは直接担当へお電話下さい。**→大学セミナーハウス教員免許更新センター

TEL042-676-8532(月~土 9:00~17:00)

詳しい内容とお申込み、お問合せは・・・

大学セミナーハウス

検索

ツイッターもご覧下さい。
メールマガジンのお申込みも受け付けております。



Plain living and high thinking

セミナーハウス・ニュース No.1185
発行人 公益財団法人 大学セミナーハウス
2013年11月発行
発行部数 六〇〇〇部
編集人 八王子セミナーハウス
留學生グループ